

日本一の稼ぎ頭「トヨタ」

中国展開をして長いトヨタは中国全土にどれほど資本投下しているのだろうか？

言い換えれば、トヨタは中国にどれほどの経済的メリットを与えているのだろうか？

■「尖閣諸島問題」で中国全土に「反日の暴風」が吹き荒れ、日本企業がメチャメチャに打ち壊されたときに「トヨタ車に乗っていた中国人夫婦が暴徒にクルマから引きずり出され、ボコボコにされていた」が中国人の「脳みそ」はこの程度のものなのか、と少々驚いた。

「愛国無罪」「小日本」のプラカードを警察署で渡され、警察ご指導でシュプレヒコールの練習をし、警察の用意したバスに乗り込み、点呼を警察官に取られて人数を確認され、デモ現場まで交通整理する警察官のガイド付き。

いくら共産党の国、中国でもデモまで管理されればやり過ぎじゃありませんか？

そう言ったら、日本の国会議員の先生が「デモクラシーのない国だから、官製のデモは当たり前、驚くことはない」と冷めたことをおっしゃる。



日本が尖閣諸島を国有化したことに抗議する反日デモ(2012年9月)



北京モーターショー2018で発表された日産 新型シルフィ

■経団連の皆さんが「中国からお金を持って帰れない」とボヤいている。

儲けたお金を中国から持ち出せないならどうするのか？中国で再投資するしかないという。

良い投資先があればよいが、中国での投資は難しかりょう。

中国は自由主義経済ではない。共産党による統制経済の国だ。自由主義経済のルールは通用しない。

■日産のブルーバードの「シルフィー」が中国での販売好調車（2016年、36万



ボルボ(VOLVO)製EV

台)。「ブルーバード」はメーテルリンクの「幸せの青い鳥」そのネーミングと「値下げ」「安い」が購買意欲をそそったのだという。

■自動車よる大気汚染が問題となっている。中国では電気自動車（EV車）に補助金をつけている。

■フランス政府が2040年までにガソリン車・ディーゼル車の販売を禁止する方針をまとめたとのこと。EV車（電気自動車）へとシフトすると予想されます。フランスに続きイギリスも2040年から石油燃料自動車を禁止。ボルボは2019年以降に販売する車はEV車に限定。ドイツのBMWもすでに全車種にEVを用意済という。

どうやら、世界の趨勢は「自動車はEV」となりそうだ。